

② 市野谷水鳥の池



水鳥をはじめとした多様な生物の生息環境維持を目的とした工法である「ミティゲーション手法」により整備された流山おおたかの森駅そばの調整池。近年は池の一部の陸地化が進行しつつあり、水辺に樹木やガマが定着し始めている。

環境タイプ

調整池 湿地 草地

(地権者)

公有地

(所管)

流山市役所下水道建設課

(市民的視点)

普段は敷地内を開放していない。おおたかの森駅や住宅街の付近にあるため、市民にとって身近な自然環境であると言える。また、様々な鳥類が観察出来るため、それを楽しみにしている市民も多数いる。

(評価結果)

【◎】

調整池でありながら、自然環境を整備することを重視している貴重な市有地である。令和5年12月より、管轄である下水道建設課が、今後小学校の環境学習や環境イベントに利用することを視野に入れ、遊歩道や展望スペースの確保等の整備工事を実施したため、今後は市民がより間近で自然に触れる機会が期待出来る。(下水道建設課も生物多様性保全に対し、協力的である。)